

2015(H27)年度 事業計画

2015年4月1日～2016年3月31日

2015年7月31日

ペレットクラブ

活動テーマ「ペレットストーブの品質向上と燃料規格の ISO 化」

■昨年度の取り組み

2012年11月に開始した「ペレットストーブの規格化と認証に関する有志の会（有志の会）」の活動は、ペレットクラブ内の「ストーブ規格認証委員会」へと引きつがれ、昨年7月の「家庭用木質ペレットストーブ製品規格（PC WPSS-1:2014）」制定ならびに「家庭用木質ペレットストーブ設置推奨基準」発表をもって一つの結果を得ることができました。

また、林野庁「地域材利活用倍増戦略プロジェクト事業費のうち木質バイオマス加工・利用システム開発事業」において、国産ペレットストーブの気密性向上に関する研究開発を実施できたことも昨年度の大きな成果でした。これに関連したフォーラムを東京と京都で開催し、欧州ペレット協議会の Rakos 会長ならびにフィンランド VTT の Alakanagas 研究員をお招きしました。Rakos 氏からは欧州市場の発展について、Alakanagas 氏からは ISO のチームリーダーとして、規格の現状について貴重な講演をいただきました。

そのほか、「全国ペレットストーブ安全技術講習会（第1回）」を（有）シモタニの協力のもと岐阜県において開催できたことは、消費者の視点からペレット利用の安全と安心を担保するというペレットクラブの目指す方針を具体化するものとして、非常に重要な一歩であったと思います。

■今年度の活動

今年度も、昨年度と同様にペレットストーブの品質向上に係る事業に取り組み、国内で販売されているストーブの品質試験を実施したいと思います。ストーブ規格認証委員会の活動はストーブ部会へと引継ぎ、ストーブ規格の改定等を検討します。また、林野庁事業にも引き続き参画し、今年度はストーブの効率と排ガス品質の向上に取り組む予定です。安全技術講習会についても、第2回となる今回はサンポット（株）の協力を得ながら岩手県で開催します。

2020年施行予定の住宅省エネの次世代基準の実施においては、昨年度より国土交通省の主導の下、「住宅省エネシステム設備込基準検討WG 暖冷房・換気設備 SWG 木質燃料ストーブ TG」という名称の技術的な会合が開催されており、ペレットストーブと薪ストーブが省エネ機器として認定を受けられるよう、ペレットクラブも委員として協力していく所存です。特に今年度は“業界として”のペレットストーブの統一規格が不可欠であるため、他の業界団体との調整が求められており、正念場といえそうです。

ペレット燃料に関しては、昨年4月に ISO 規格が発表されたことに伴い、これまでペレットクラブが引用していた欧州（EN）規格を ISO へとアップデートします。世界的に有効なペレット規格が ISO 化されたことで、国内の二つの自主規格についても ISO へと一本化せざるを得ないため、実質的に“ISO が統一規格になる”と考えています。

最後に、ペレット業界は他の業種に比べて広告宣伝が圧倒的に不足していることから認知度も低く、普及を阻害しているという指摘があります。今年度は、2年に1度開催される木工機械展（名古屋）においてストーブとボイラの展示を行う予定です（前回2013年にも実施済）。